



## 聴きくらべて欲しい。高級スピーカー直系の低音再現力 「エアロサウンドシステム」にブラックモデルが登場

### CBX-Z20X

「AERO Sound System(エアロサウンドシステム)」は、高級単品スピーカーで開発された低音増強技術「エアロアコースティックドライブ」を搭載して2006年に誕生しました。CDプレーヤー、アンプ、スピーカーとiPodドックを一体化したAERO Sound Systemは、音楽CDとiPodの両方をいい音で楽しめる数少ない本格オーディオとして好評を得ております。2007年リリースの第2世代モデル「CBX-Z20」では音質をさらに向上し、音楽ファンに定評ある「ジャズコンポーネントアワード(第19回、スイングジャーナル社主催)」を受賞するなど、この製品ジャンルを確立しました。

今回発売いたしますCBX-Z20Xは、受賞モデルのZ20をベースに、上質で光沢感あふれるブラックカラーを採用した特別仕様モデルです。ホワイトを基調にしたZ20に、AV機器市場で根強い需要を持つブラックモデルを追加して、ユーザー層のさらなる拡大を図ります。

IMAGINATIVE SIGHT & SOUND **ONKYO**<sup>®</sup>

プレスお問合せ先 オンキヨー株式会社 マーケティング部 山本誓一 TEL.072-831-8005  
写真画像はこちらから [www.jp.onkyo.com/onkyo/](http://www.jp.onkyo.com/onkyo/) の「New Products」より当製品をクリックください  
掲載時のお客様お問合せ先 オンキヨーコールセンター TEL.050-3161-9555



CBX-Z20X

Dock搭載CDチューナーアンプシステム

オープン価格 10月23日発売予定

- CDプレーヤー/アンプ/チューナー/スピーカーとiPodドックを一体化した本格コンパクトオーディオシステム
- 高品位な低音増強を可能に。トップレベル・パスレフ技術「エアロアコースティックドライブ」を搭載
- 付属リモコンにより、iPodの音楽ライブラリの再生/一時停止の主要操作が可能。iPodの充電機能も装備
- スピーカーユニットを振動板から自社生産。上位モデルの設計で開発された高級振動板「OMFコーン」を採用
- 高級アンプの回路を応用した「フローティンググラウンド」方式を採用。低域のロスを低減し、スピーカーの駆動力を大きく向上
- 夜間小さな音量で低音再生を豊かに。ボリュームに応じてブーストを自動調整する「アクティブBASSコントロール」回路を搭載
- 繰り返しアラームが鳴る目覚ましスヌーズ機能や、最大4モードのプログラムタイマー機能を搭載

実用最大出力	5W+5W(6Ω、JEITA)
FM/AM受信範囲	FM76.0~90MHz、AM522~1629kHz
スピーカー	8cm OMFコーン×2
周波数特性	40Hz~20kHz
音声入力端子	アナログ1
ヘッドホン端子	1
最大外形寸法/質量	W435×H138×D231.5mm/4.3kg
音声出力対応iPod (2008年9月1日現在)	iPod touch/iPod classic/iPod(第4世代以降)/iPod photo/iPod nano/iPod mini
付属品	リモコン

## 主なテクノロジー

### 高品位な低音増強技術を投入

「コンパクトオーディオの音は貧弱」という常識を覆すために、オンキヨーが出した答えは高級単品スピーカーの技術をいかにして組み込むかということでした。「エアロコースティックドライブ」はオンキヨー技術が開発したスリット型バスレフダクトの呼称。バスレフはキャビネット内で発生した空気振動エネルギーを放出して低音再生を増強する技術ですが、一般的に採用される丸型円筒ダクトの形状ではキャビネット内部で発生したノイズも放出しやすく低音そのものが「こもり」の原因となって楽器やヴォーカルの再生音を曇らせ、音楽の躍動感を損なっていました。独自のスリット型バスレフ構造は、従来ありがちであった「こもった重低音」を払拭し、演奏している楽器の質感など音楽の表情はそのままに豊かな低音を再現します。



### 躍動感あふれるCD&iPod再生を実現

音楽CDの再生機能に加え、新しい音楽メディアとして普及するiPodの再生機能も装備。お気に入りのCDはもちろん、iPodを専用ドックに装着すれば膨大なiPodライブラリも本格オーディオの豊かな音質で再現します。また付属のリモコンによるiPodの音楽ライブラリの再生/一時停止、スキップアップ/ダウン、ボリューム調整など主要操作や、電源連動やインプットセレクターの自動切換えなどシステム連動が可能です。さらにiPodの充電機能も装備(本体がスタンバイ中でも対応)。iPodライブラリを活用した高品位なミュージックサーバーとして楽しんでいただけます。

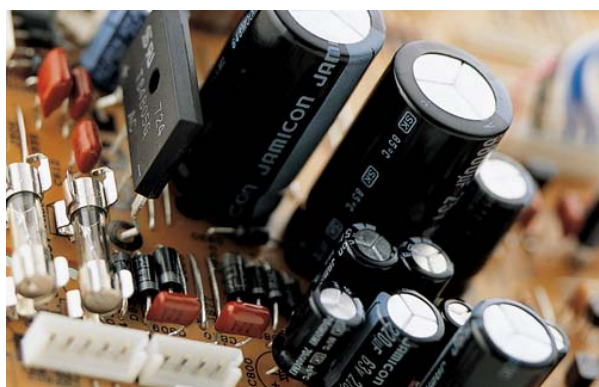


## 主なテクノロジー

**振動板素材から設計する本格スピーカーユニット**  
 オンキヨーは、スピーカーの心臓部と言われるスピーカーユニットを振動板の素材開発から行き、こうして生み出された本格スピーカー技術を各製品へ投入しています。AERO Sound Systemにもこの設計理念をもとに開発された高級振動板「OMFコーン」を採用。「より硬く・軽く・固有音が少ない」という振動板の理想像を追求して、オンキヨーの本格上位モデルの設計とともに開発された振動板素材です。まさに単品スピーカーを設計してそのまま搭載するという本格仕様を継承しています。



**高級アンプ回路を応用、「フローティンググランド」方式**  
 スピーカーに加えて、オーディオ能力を大きく左右するアンプ部の回路にも手を加えました。通常一体型のオーディオシステムではパワーアンプ回路の出力にコンデンサを配置して、スピーカーへ流れる直流をカットする必要がありますが、同時に低域のロスなどが生じてしまいます。AERO Sound Systemは、高級アンプの回路を応用した「フローティンググランド」方式により、コンデンサを外しても直流がスピーカーに流れない高級アンプと同じ回路設計を実現。また、電源部には9100 $\mu$ Fの容量を持つオーディオ用コンデンサを採用。低域のロスを改善し、スピーカーの駆動力を大きく向上させています。



**商標について** iPodは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。その他の名称については、一般に各開発メーカーの商標または登録商標です。